

3. 個別変更点の説明 ① J R 関内駅側から見たファサード (LVA、くすのきテラス)



当初計画案



【目的②】 建物高さ(スカイライン)の変更
 ・LVA3Fと屋上の一体化・くすのきテラスの階数変更(3階⇒2階)により、くすのきモールの両側が高くなっていくスカイラインを形成し、関内駅前を中心を表現する。

【目的①】 外装材の変更
 ・行政棟⇒LVA ⇒くすのきテラスの表層材を段階的に変化させ、伝統的な印象を残しながら、現代的な外観を街に馴染ませる。

『伝統』 行政棟:レンガ+モルタル調
 『調和』 LVA:レンガ調ルーバー+黒系メタル+ガラス
 『現代』 くすのき:黒系メタル+ガラス



今回計画案

3. 個別変更点の説明 ① J R 関内駅側から見たファサード (LVA)

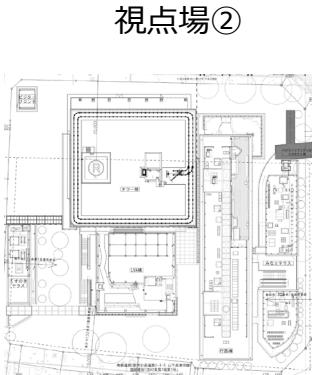


当初計画案



【目的①】外装材の変更

・黒系メタルを採用し、レンガ調の色、白色の水平ラインを引き立たせる。



【目的③④】

屋上植栽の再配置

・JR関内駅側に低木や地被類等を配し、屋上広場のにぎわいを駅前から視認できるようにする。

・緑の軸線上に高木を配置し、立体的緑化を強化する。

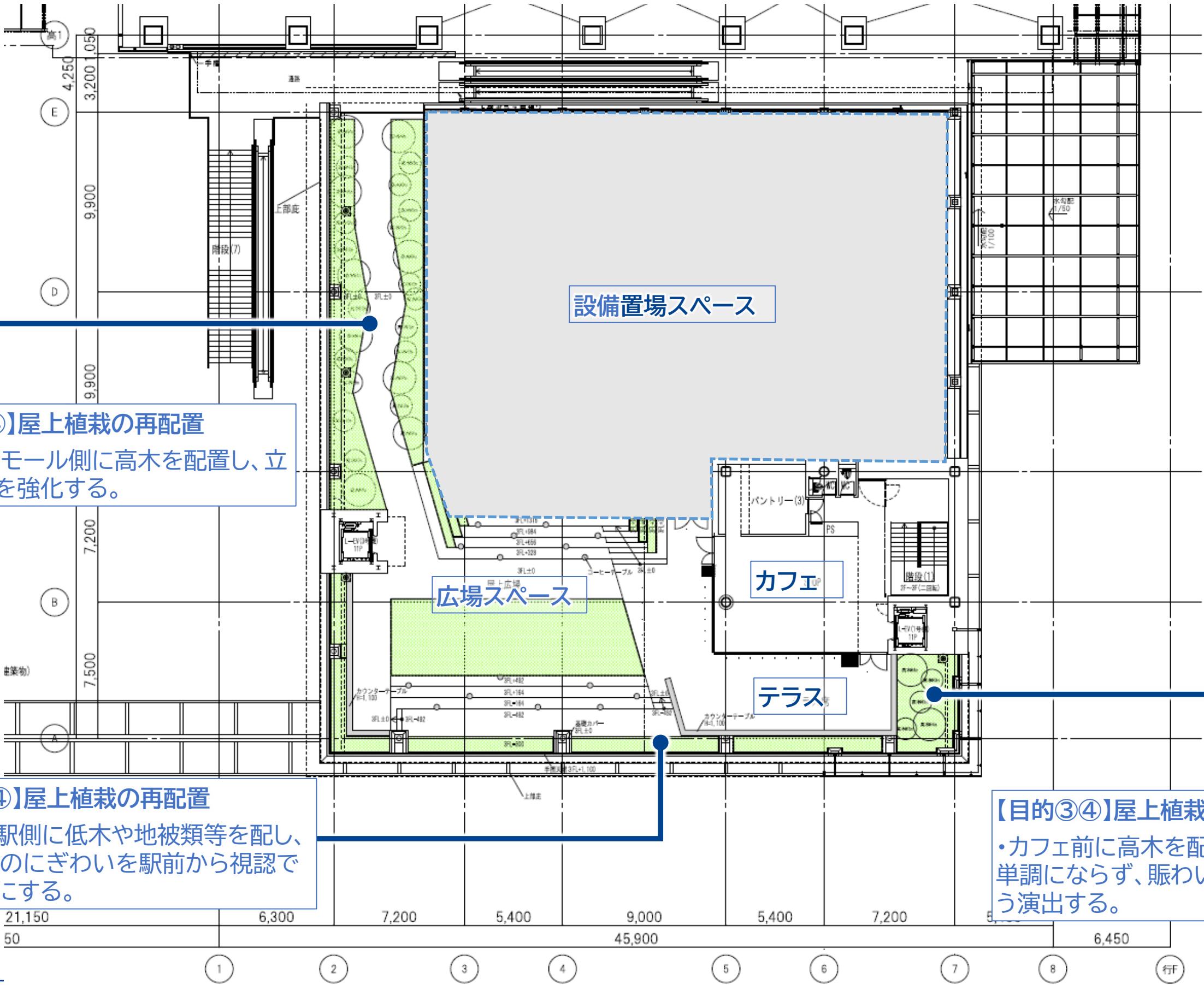


今回計画案

【目的①】外装材の変更

・レンガ調タイルからレンガ調ルーバーに変更し、施設内部のにぎわいを滲み出す。

3. 個別変更点の説明 ② LVA屋上緑化の構成



【目的③④】屋上植栽の再配置
 ・くすのきモール側に高木を配置し、立体的緑化を強化する。

【目的③④】屋上植栽の再配置
 ・JR関内駅側に低木や地被類等を配し、屋上広場のにぎわいを駅前から視認できるようにする。

【目的③④】屋上植栽の再配置
 ・カフェ前に高木を配置し、全体が単調にならず、賑わいが隠れないよう演出する。

3. 個別変更点の説明 ③関内駅前港町地区から見たファサード（くすのきテラス）



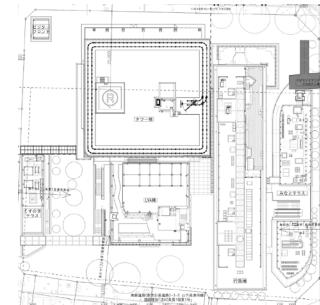
【目的①】 外装材の変更
・黒系メタルを採用し、白色の水平ラインを引き立たせる。



【目的③】 ファニチャ等の設置
・ファニチャ等を配し、にぎわいを演出する。



視点場③



【目的③】 ガラス面の拡大
・外壁面を壁からガラスに変更し、建物内の賑わいを伝える。



【目的③】 出入口、オーニングやファニチャ等の設置
・オーニングやファニチャ等を配し、街区外にも開かれた界隈性を演出する。

今回計画案

3. 個別変更点の説明 ④ J R根岸線高架下から見たファサード（みなとテラス）

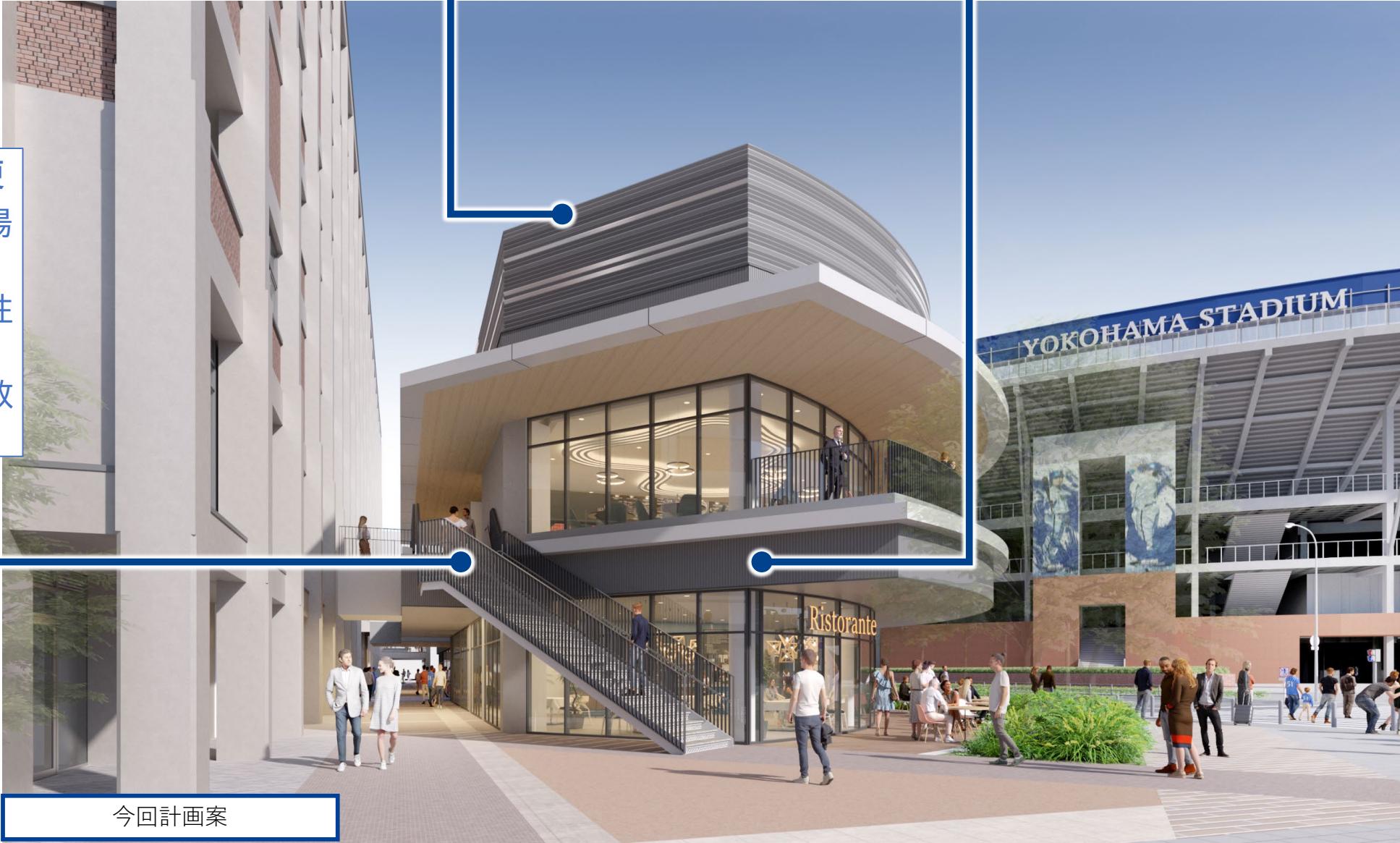


当初計画案

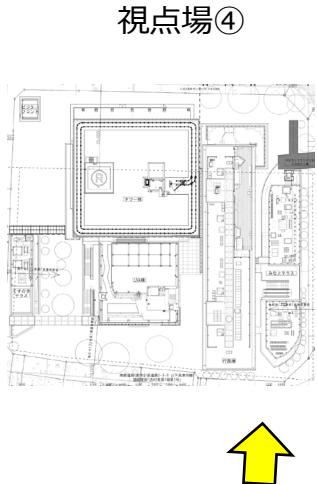
【目的②】 外装材(ルーバー)の変更
・周辺の景色に調和しやすいよう黒系メタルを複数色組み合わせたものとし、軽快さを演出する。

【目的①】 外装材の変更
・黒系メタルを採用し、白色の水平ラインを引き立たせる。

【目的③】 建物形状の変更
・階段の向きを変更し、広場面積を拡大する。
・貫通通路を整備し、回遊性を向上する。
・屋根の形状を変更し、行政棟の視認性を向上する。

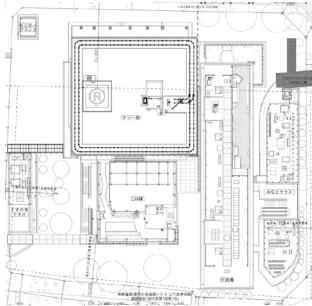


今回計画案



3. 個別変更点の説明 ⑤横浜公園側から見たファサード（みなとテラス）

視点場⑤



当初計画案

【目的①】 外装材の変更

・黒系メタルを採用し、白色の水平ラインを引き立たせる。

【目的③】 外壁ラインの変更

・みなと大通り側外壁ラインの凹凸を2階から1階に変更し、歩行者目線での賑わいと界隈性を向上させる。

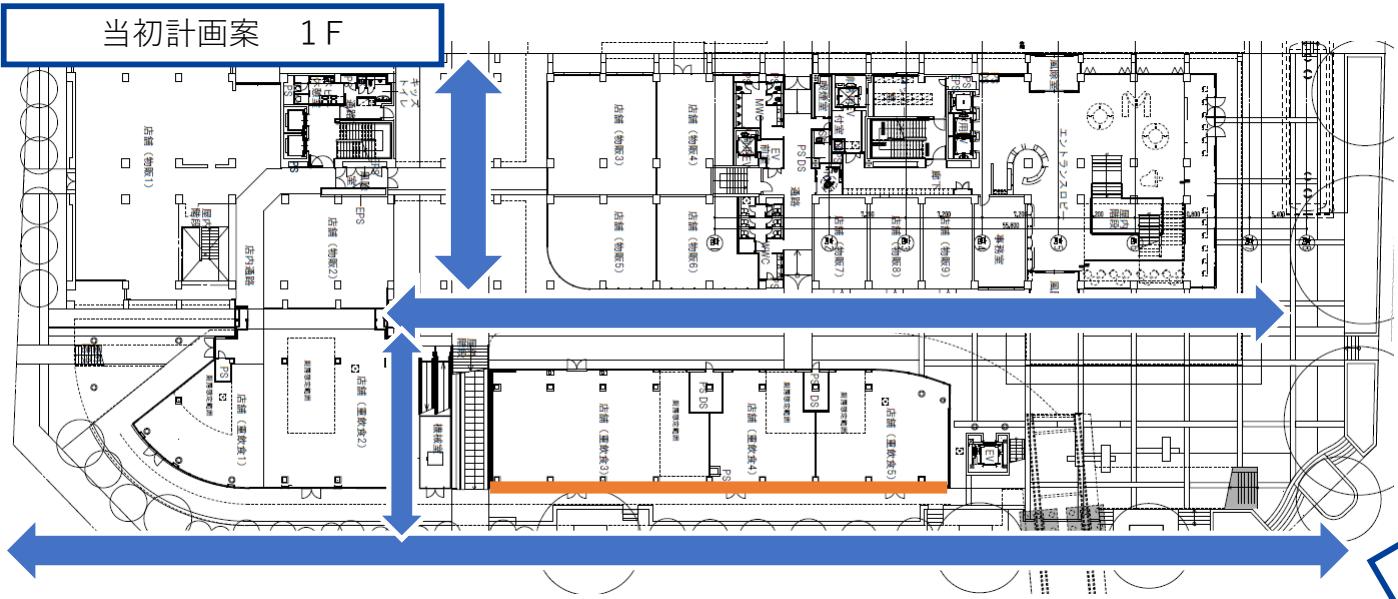
【目的②】 外装材(ルーバー)の変更

・周辺の景色に調和しやすいよう黒系メタルを複数色組み合わせたものとし、軽快さを演出する。



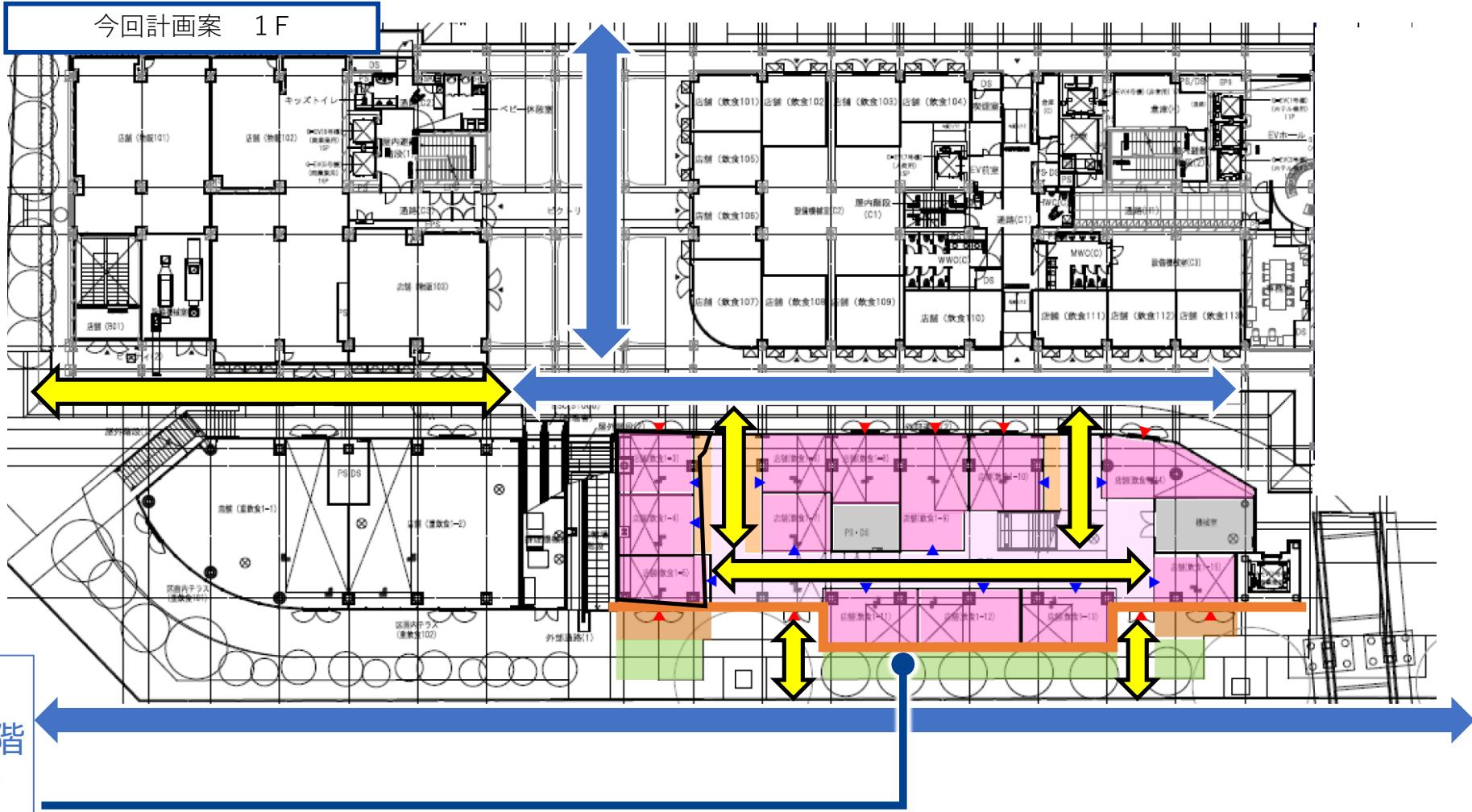
今回計画案

3. 個別変更点の説明 ⑥外壁ライン・建物形状を変更し、回遊性・界限性を向上（みなとテラス1F）



【凡例】

既存動線	
変更動線	
外壁ライン	
店舗	
テラス	
植栽	

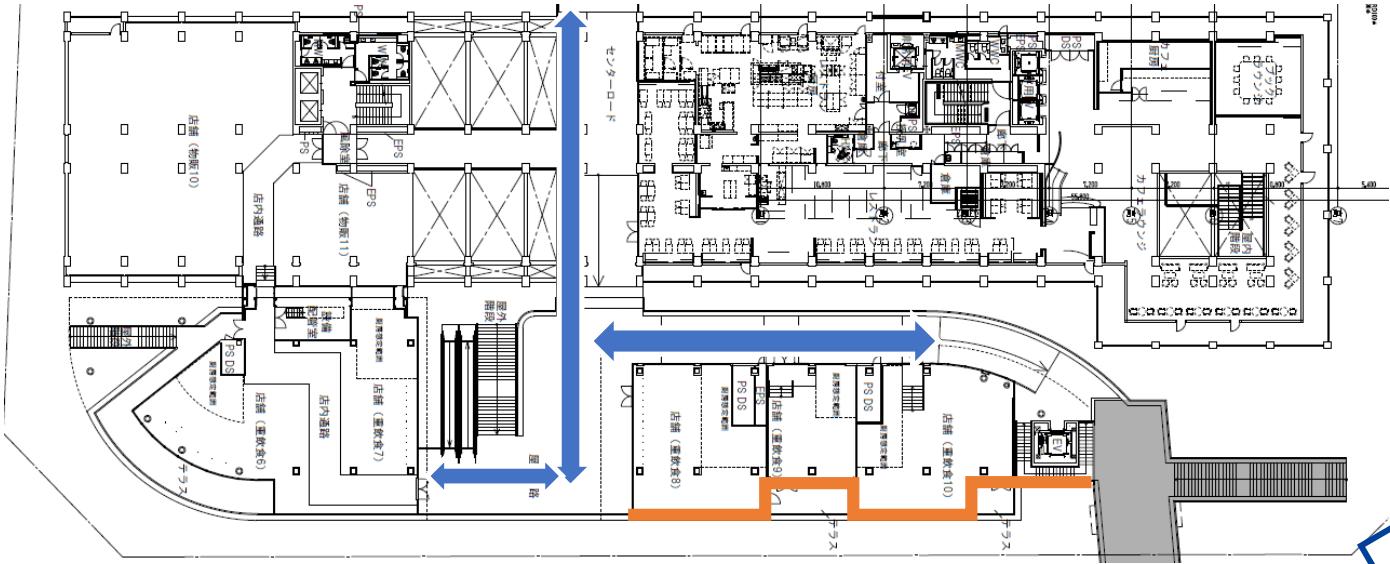


【目的③】建物形状の変更
 ・貫通通路を整備し、回遊性を向上する。

【目的③】外壁ラインの変更
 ・みなと大通り側外壁ラインの凹凸を2階から1階に変更し、歩行者目線での賑わいと界限性を向上させる。

3. 個別変更点の説明 ⑥外壁ライン・建物形状を変更し、回遊性・界限性を向上（みなとテラス2F）

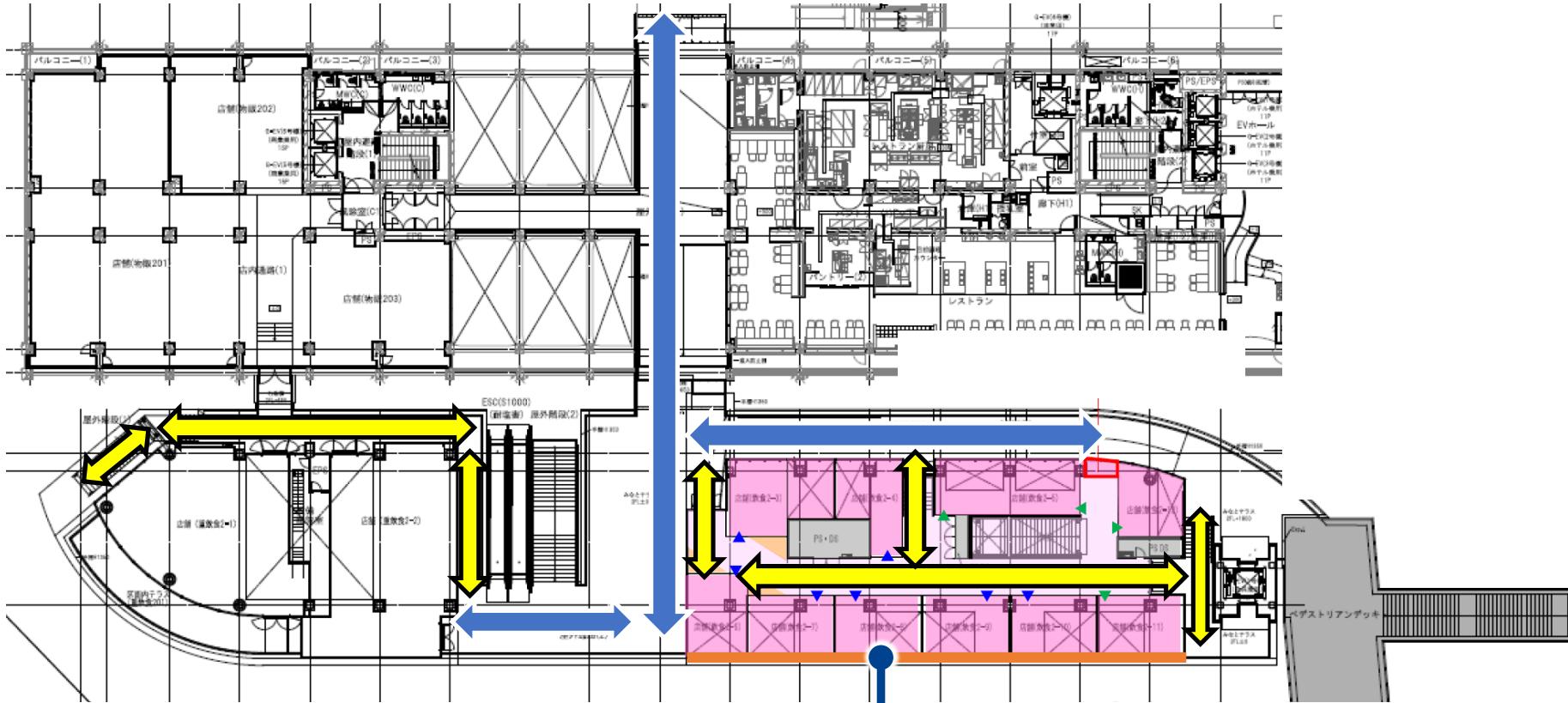
当初計画案 2F



【凡例】

既存動線	↔
変更動線	↔
外壁ライン	—
店舗	■
テラス	■
植栽	■

今回計画案 2F



【目的③】建物形状の変更
 ・貫通通路を整備し、回遊性を向上する。

【目的③】外壁ラインの変更
 ・みなと大通り側外壁ラインの凹凸を2階から1階に変更し、歩行者目線での賑わいと界限性を向上させる。